

5面は、菓子製造の岩本製菓（本社稲沢市）がロングセラーの焼き菓子「タマゴボーロ」などの輸出拡大に取り組む話題です。少子化に伴う国内市場の縮小を見据え、現地展示会に出展するなどして認知度を高め、さらなる販路開拓を目指しています。

デスク席から

中部経済新聞

2026年1月6日

◀1面

5面▼

# 米国中心に輸出拡大



ニューヨークで開かれた展示会のブース

少子化に伴う国内市場の縮小を見据え、成長が見込まれる海外での販売拡大に力を入れる  
輸出は、商社を介して各

## 展示会に出展、認知度向上へ

### 岩本製菓

菓子製造の岩本製菓（本社稲沢市日下部北町4の5、森勇樹社長、電話0587・32・5138）は、ロングセラーの焼き菓子「タマゴボーロ」を主力に、輸出を拡大する方針だ。これまでも米国をはじめ、アジア圏に広く輸出している。米国では日系スーパーを中心に販売しているが、現地展示会への出展などを通して認知度を高め、さらに販路を深耕する。

（尾張・中村光希）

2025年9月には、ニューヨークで開かれた食品問屋主催の取引先向け展示会に出展。「タマゴボーロ」など主力商品を紹介した。現地の問屋やスーパーのバイヤー、飲食店関係者がブースを訪れ、日系人を中心に高い関心を集めた。



森勇樹社長

同社製品は米国で日系スーパーを中心に取引されており、アジア系住民には浸透している。しかし、他のスーパーでは認知度が低く、開拓の余地があるとみている。販路開拓に向け、展示会への定期的な出展を通じて、現地バイヤーとの接点を増やし米国での認知度を高め、需要をつかみたい考え。日本が誇る菓子を海外に広め、将来の成長につなげる。

森社長は「米国市場は進出から約30年。子どもの頃に当社製品を食べていた人が、今はバイヤーになり、懐かしさを感じてくれる例も出てきている。継続的な取り組みが実を結びつつある」と手応えを話す。  
現在、輸出先は米国のほか、韓国、シンガポール、マレーシア、ブラジル、カナダ、ドイツなど10カ国に上る。中でも米国市場に伸びしろがあると判断した。

